

長崎大学生協 ヴィーガンメニュー試食会

第032号
(通算507号)



[組合員交流]

取り組み概要

日時：2022年12月6日(火)13:00～14:00
8日(木)13:00～14:00

場所：文教食堂2階

参加者数や組合員の反応：6日は7名、8日は6名の参加があり、試食と交流を楽しんでいた。

背景や概要：組合員からヴィーガンでも食べられるメニューの提供をしてほしいという要望があり、実際に食堂で提供するための準備段階として組合員向けの試食会が開催された。価値観が多様化する大学生活に大学生協としても貢献していきたい、という想いが込められている。

多様な組合員を食の面からサポート！

POINT.1

きっかけは組合員の声



今回の取り組みは**組合員からの要望に応える形で実現**したものです。大学生協にとって、大学で生活する様々な組合員の声を取り入れて運営していくことは根本的なことでもあり、とても重要な意義を持っています。学生や教職員、留学生といった様々な立場や、ヴィーガンなどの多様な思想を持った人々が生活する大学というフィールドに存在する生協だからこそ、**多様性に対応していくことが求められています。**

また、コロナ禍で生協の活動的側面を知る職員さんが減ってしまった中、こうした**組合員の声を取り入れた活動を行うことで大学生協全体を盛り上げていく**きっかけにもなっていました！

POINT.2

美味しく栄養満点！

試食会で提供されたのは実際に食堂で週替わりで提供予定の5種類のカレー。どれも動物性食品は不使用で野菜や豆がふんだんに使われており、**栄養価が高いだけでなく、味もとても美味しかったです！**

原価などの関係から通常のカレーに比べて提供価格は若干割高にはなってしまうものの、その分**一食当たり100gの野菜が美味しく摂取できるので、ヴィーガンの組合員はもちろん、それ以外の組合員にもぜひ食べていただきたい**ですね！



POINT.3

交流のきっかけも！



試食会終了後、**参加者同士で自発的に交流する様子**が見られました！やはりヴィーガンに関する取り組みということで留学生の参加も多く、日本人学生との交流のきっかけにもなっていました。

大学生協の食堂は本来食事を提供するだけの場所ではなく、**組合員同士が交流するための場所**でもありました。少しずつではありますが、コロナ禍で失われてしまったそうした機能も回復の兆しが見えてきました。